



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



引妻池（高松市前田東町）

目 次

1. 民主党並びに自由民主党、農林水産省へ
農業農村整備事業の推進について要望2
2. 平成 23 年度第 1 回監事会開催3
3. 平成 22 年度農地集団化事業研究会及び第 43 回通常総会3
4. 「アジア・アフリカ地域 農家組織によるため池を利用した
地域の水管理」コース研修（2 年目）を実施4～5
5. 第 2 回 EM 泥だんご投げ大会 ～「アサザ」の里・久米池～6
6. 平成 23 年度香川県土地改良管理円滑化事業推進委員会
及び香川県土地改良換地等強化事業推進委員会開催7
7. 会と催し／お知らせ8

民主党並びに自由民主党、農林水産省へ 農業農村整備事業の推進について要望

去る 7 月 27 日、28 日の両日、中国四国地域農業農村整備関係協議会の代表 宇津徹男（島根県土連会長）を始め、中国四国各県の代表者等総勢 22 名が参加し、田名部匡代農林水産大臣政務官、武内則男陳情要請対応本部副本部長（民主党）、石破 茂自由民主党政務調査会長、吉村 馨農林水産省農村振興局長及び同局関係部課長、各県選出国會議員に対し農業農村整備事業の推進について要望活動を行った。



武内 則男 陳情要請対応本部副本部長(民主党)



田名部 匡代 農林水産大臣政務官



石破 茂 自由民主党政務調査会長



吉村 馨 農林水産省農村振興局長

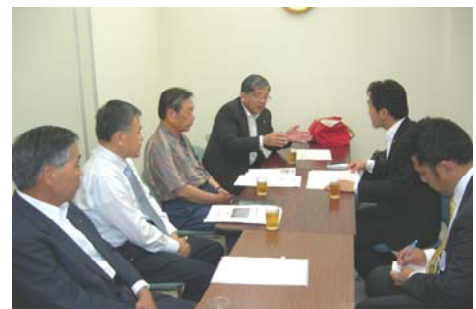
要望事項

- 1 農地・水保全管理支払交付金（共同活動支援）の継続
- 2 戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業の継続
- 3 地域農業水利施設ストックマネジメント事業の拡充
- 4 小水力発電挿入の支援と規制等の緩和
- 5 老朽化したため池の整備促進と国庫負担の拡充
- 6 水田汎用化に資する（国費 100%）による再整備事業の創設

農業農村整備事業施策制度等に関する要請活動実施

香川県農業農村整備事業推進協議会大山茂樹会長と香川用土地改良区組橋啓輔理事長等は、7 月 2 日と 4 日、民主党香川県支部連合会の玉木雄一郎代表と自民党香川県支部連合会の平井たくや会長、綾田福雄幹事長に下記の 4 項目について要請活動を行った。

また、7 月 27 日には、本会の大山会長と山地常務理事が玉木雄一郎衆議院議員ほか 6 名の本県選出国會議員に下記の項目について要請した。



玉木雄一郎(民主党)寒川事務所にて要請活動

要請内容

香川県農業農村整備事業推進協議会

- 1 老朽化したため池の整備促進と国庫負担の拡充
- 2 農地・水保全管理支払交付金（共同活動支援）の継続について

香川用土地改良区

- 1 香川用水農業専用用水路の計画的な保全整備について
- 2 基幹的農業水利施設の戦略的かつ着実な保全管理の推進並びに東日本大震災の早期復旧支援について

平成 23 年度 第 1 回 監事会

本会の平成 23 年度第 1 回監事会が、7 月 21 日午前 10 時から高松市番町の香川用水記念会館 5 階において開かれた。

当日は、大山会長の挨拶の後、森川代表監事を始め稲尾監事、菰渕監事出席のもと、平成 22 年度事業報告及び一般会計・特別会計収支決算並びに財産目録の承認について監査が実施され、諸帳簿、証憑書類等精査の結果、いずれも適正に処理されていることが認められた。続いて、平成 23 年度中間監査が行われ適正に処理されていることが認められた。



中国四国農地集団化協議会

平成 22 年度農地集団化事業研究会及び第 43 回通常総会

中国四国農地集団化協議会（会長 伊藤 宏太郎）の平成 22 年度農地集団化事業研究会及び第 43 回通常総会が、去る 7 月 21 日、22 日の両日「水土里ネット愛媛」において開催された。



エコファームうちこの
ブルーベリー畑

一日目は、内子町において県営事業で整備された農地を活用して観光農園の事業を展開している「有限会社 エコファームうちこ」での現地視察が行われ、代表取締役徳山守氏から経緯及び今後の展開について説明を受けた。

二日目、開催県の愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課石山課長より歓迎の挨拶があった後、農地集団化事業研究会に移り、株式会社愛亀あぐり事業部長大森氏から「農業法人あぐりの取り組み」と題した講演があり、建設業から農業進出への経緯、営農目標等今後の取り組みについて説明を受けた。

その後、総会に移り水土里ネット愛媛の平田常務理事から挨拶があった後、中国四国管内の 8 名の方々に農地集団化永年勤続表彰が行われ、夫々に表彰状と記念品が渡され、また、事務局から全国農地集団化協議会の優良地区会長表彰伝達、永年勤続者会長表彰被表彰者紹介があった。

続いて、公務ご多忙の中出席された中国四国農政局の大木管理課長から挨拶があった後、平田常務理事が議長に選出され、平成 22 年度事業実績並びに平成 23 年度事業計画（案）、役員改選についての議案審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。



「アジア・アフリカ地域 農家組織によるため池を利用した地域の水管理」コース研修(2年目)を実施

今年も昨年に引き続き JICA（独立行政法人国際協力機構）四国支部より委託を受け、アジア・アフリカから 9 名の農業灌漑省関係の研修生を受け入れ、7 月 4 日から 8 月 1 日までの約 1 ヶ月間にわたり研修を実施した。ウガンダほか 5 カ国から来県した研修生は、猛暑のなか「農家組織によるため池を利用した地域の水管理」コースを研修カリキュラムにそって熱心に受講。昨年度の研修生から、ため池改修工事中の現場視察要望が多くだされていたが、



これについてはどうしても工事が水稲収穫後の非灌漑期になることから、金森国際協力専門員自ら冬場に来県し、工事現場の工程ビデオを作成（25 分程度）されていたものを開講式後のコースオリエンテーションで放映し視覚に訴えていたこともあり、後の講義の理解をより深めることに大いに貢献した。

5 日午前には、ジョブレポートの発表会を行い研修員の自国での仕事内容とため池の状況について写真を提示しながら発表し、お互いの意思疎通とそれぞれの国の問題点を共有した。

また、最終の研修成果報告書作成を容易にするるとともに研修内容を詳細に把握させるため毎日の講義終了後には、その日のテクニカルノートの作成提出を義務付けた。



カリキュラムも一般農業分野のソフト事業から農業土木のハード事業まで多岐に渡って編成した。例えば、日本の農業、香川の農業、香川の歴史・文化・行政等の紹介も講義に盛り込んだ。

主な講義のカリキュラム内容は、香川独自の伝統的な水利慣行、線香水に代表される水配分システム、ため池の保全に関する条例、ため池の設計基準・施工技術等である。



香川用水東西分水工にて



満濃池取水塔の中を見学



生コン会社で説明を聞く研修生

現地視察では、世紀の香川用水事業の水源である「早明浦ダム」取水地点の「池田ダム」香川県の配水分岐地点の「香川用水記念公園」、高度な設計技術とヨーロッパの古城を思わせるマルチプルアーチの「豊稔池」、灌漑用のため池では日本一の「満濃池」等、香川の代表的なため池の講義も受けながらの視察を行った。

今年のため池の視察では、春先の少雨で貯水が懸念されておりましたが、台風接近等で梅雨前線が刺激されたお陰で全てのダム・ため池とも満水状態であったこともあり、研修員全員が水面はもとより池周辺の景観がすばらしいと感銘しており、引率者として安堵と優越感に浸り、一人ではくそ笑む一幕で

もあった。

また、講義・実習では、生コンクリート会社での生産工程巡回説明後のスランプテスト、エア抜キテスト、テストピースの破壊実習を行った。講義・実験では、放射温度計を使ったため池の漏水箇所の検索法、ため池からのパイプラインによる取水エア抜キ実験を行った。これらの実習・実験では、研修生全員が興味津々で順番を争って順次体験し、帰国後のため池管理に実践しなければと意気込んでいた。

12 日午前、県庁に川池農政水産部長を表敬訪問し、お互いの挨拶後の談笑のなかにも早速本題の質問も飛び出し研修員の熱意を醸し出していた。

今年の研修は、金森国際協力専門員、西山コースリーダーの指導のもと、研修生が習得した研修成果を自国に帰って即実践に移せるようにと、研修終盤の一週間は、研修成果報告書の作成、特定技術レポート発表教材の作成、発表と討議等濃密な演習指導を行った。その結果、それぞれの国の課題に対して具体的な実践計画を作成し、8 月 1 日最終日午前のアクションプランの発表会でも明快に発表するとともに、参加者からの質問にも要領を得た答弁ができていた。

午後の閉講式では、JICA 四国の長澤支部長から研修員全員に終了証書が授与され約 1 ヶ月の長いようで短い研修にピリオドを打った。香川で習得した研修の成果がそれぞれの国の農業の発展に寄与されることを切に期待するものである。「会いは別れの始め」と言われ、僅か 1 ヶ月程の研修期間での別れではあるが、お互いに相通ずるものがあり別れを惜しみつつ再会を約束して感傷に浸りながらそれぞれの帰国の途に着いた。

最後に、講師の方々、土地改良区等関係されました多くの方々に紙面から恐縮ですが御礼を申し上げます。ありがとうございました。



修了証書を受け取る HASSAN (Chad)



James(Uganda)

JICA 四国支部 井上氏 LAIZER(Tanzania)

Htet(Myanmar)

Zayar(Myanmar)

西山名誉教授

川池農政水産部長

Robert(Malawi) OMARI(Kenya)

MBEMBA(Malawi) HASSAN(Chad) Bechir(Chad)

第 2 回 EM 泥だんご投げ大会 ～「アサザ」の里・久米池～

7 月 24 日、高松市新田町の久米池において、第 2 回 EM 泥だんご投げ大会が開催された。久米池では、平成 15 年 5 月にため池環境保全組織“「アサザ」の里・久米池”を設立し、EM（有用微生物）を活用した水質浄化に取り組んでいる。

この日は、真夏の太陽が照りつけるなか家族連れや地元の小中学生、県立桜井高校の学生等地域内外から大勢が参加した。



開会セレモニーでは、久米池水利組合の平賀組合長、水土里ネット古高松菰渕理事長、NPO 香川県 EM 普及協会宮武会長、古高松中学校の安田校長が挨拶。その後、会場では EM 泥だんご投げ大会や泥だんご作り体験などが行われ、子どもと一緒に大人たちも池の中の的に向かって泥だんごを投げ心地よい汗を流した。今年も小中学校、幼稚園、保育園の子どもたちが作ってくれた約 2 万個の泥だんごが投げ入れられた。



EM 泥だんごを作る参加者



的を目掛けて



ボートに乗って泥だんご投入

EM だんご

EM 菌（有用微生物群）を主成分として土とともに団子状にしたもの。この EM 泥だんごを投入することにより、池の微生物を活性化して水を浄化することができます。

また、EM をうまく活用して微生物のバランスを整えることで、快適な生活空間を作ることができます。

★ 例えば・・・トイレやお風呂の排水、キッチンやお部屋のお掃除、家庭菜園やペットの消臭など生活のあらゆる面で活躍します。

平成 23 年度香川県土地改良管理円滑化事業推進委員会 及び香川県土地改良換地等強化事業推進委員会開催

去る 8 月 2 日、香川用水記念会館 5 階会議室において香川県土地改良施設管理円滑化事業推進委員会及び香川県土地改良換地等強化事業推進委員会が開催された。この推進委員会は、土地改良施設の円滑な管理を図るため、土地改良施設の診断・管理指導及び土地改良施設の管理等に関する苦情・紛争等対策の内容について検討を行うことを目的としている。

開会にあたり、本会山地常務理事より「土地改良施設の適切な維持管理体制が図られるよう関係各位の協力をお願いします。」との挨拶があった。

続いて、中国四国農政局農村計画部土地改良管理課大木課長、中国四国農政局土地改良技術事務所有森所長、香川県を代表して農政水産部土地改良課高尾課長より挨拶をいただき、その後、下記の項目について協議が行われた。



1. 委員長及び委員長職務代理者の選任について
2. 平成 22 年度土地改良施設管理円滑化事業実績について
 - ・土地改良施設、定期診断 134 施設、要請診断 6 施設
 - ・土地改良施設維持管理適正化事業、11 団体 15 施設 107,600 千円
 - ・土地改良事業の相談件数 40 件
3. 平成 23 年度土地改良施設管理円滑化事業実施計画（案）について
 - ・土地改良施設、定期診断 146 施設
 - ・土地改良施設維持管理適正化事業、9 団体 11 施設 107,600 千円
 - ・土地改良事業の相談等実施計画
4. その他（農業用施設における事故発生状況の報告）
 - ・平成 22 年度農業用施設事故発生、8 件 9 人死亡



中国四国農政局農村計画部
土地改良管理課の大木課長

午後 3 時 30 分からは、換地等強化事業推進委員会を開催。この推進委員会は、香川県における換地等事務の適正かつ円滑な推進を図るため、換地事務の指導及び農用地の利用集積の技術的指導並びに換地に関する異議紛争の処理に関する内容について検討を行うことを目的としている。始めに、本会山地常務理事より開会の挨拶の後、中国四国農政局農村計画部土地改良管理課大木課長、高松法務局民事行政部不動産登記部門本田

首席登記官、香川県農政水産部土地改良課高尾課長よりご挨拶をいただいた後、協議に先立ち、今年度から水土総合強化推進事業が制定され換地等強化事業実施要綱・要領により各研修及び活動が再編又は廃止となった報告がなされ、その後下記の項目について協議が行われた。

1. 委員長及び委員長職務代理者の選任について
2. 平成 22 年土地改良換地等強化事業実績について
 - ・換地計画作成等研修会及び換地計画指導者研修会の開催
 - ・換地処分地区 17 換地区 57.1ha
 - ・農地利用集積推進対策地区 2 地区の実績報告
3. 平成 23 年度土地改良換地等強化事業実施計画（案）について
 - ・換地計画継続地区 5 換地区 89.4ha、新規着工地区 5 換地区 42.9ha
 - ・農地利用集積推進対策地区の選定

なお、両委員会ともに委員長には本会の山地常務理事、委員長職務代理には湊参事が満場一致で選任された。

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
7 月 12 日	綾川町担い手育成総合支援協議会総会	綾川町
13 日	香川県農業・農村審議会	高松市
14 日	農地・水・環境保全向上対策西讃地域協議会第 2 回幹事会	観音寺市
15 日	農地・水・環境保全向上対策東讃地域協議会臨時総会	高松市
〃	観音寺市土地改良協議会総会	観音寺市
19 日	農地・水・環境保全向上対策西讃地域協議会臨時総会	観音寺市
〃	香川県農業会議常任議員会議	高松市
20 日	三豊市担い手育成総合支援協議会幹事会	三豊市
21 日	平成 23 年度第 1 回監事会	高松市
21 日 ~22 日	平成 22 年度農地集団化事業研究会及び第 43 回通常総会	愛媛県
22 日	平成 23 年度災害復旧事業担当者研修会	高松市
〃	香川県土地改良事業団体中部地区当務者会平成 23 年度通常総会 土地改良相談	高松市
25 日	三豊地区土地改良協議会役員会	観音寺市
〃	土庄町担い手育成支援協議会総会	土庄町
26 日	観音寺市地域担い手育成総合支援協議会幹事会	観音寺市
27 日	仲多度土地改良事業推進協議会役員会	善通寺市
8 月 1 日	香川用水二期地区営農検討委員会作業部会	高松市
〃	東讃南部農道事業推進期成会総会	三木町
2 日	平成 23 年度香川県土地改良管理円滑化事業推進委員会及び香川県土地改良 換地等強化事業推進委員会	高松市
8 日	第 149 回理事会	高松市

お知らせ

水土総合強化推進事業(技術力向上事業)研修会を下記の日程で開催します。

記

日 時 平成 23 年 9 月 27 日(火)
~29 日(木)

場 所 高松市番町 2 丁目 4 番 27 号
香川用水記念会館 5 階 会議室

平成 23 年度
土地改良換地士資格試験

試験期日 平成 23 年 10 月 16 日(日)

試験地 札幌市、仙台市、さいたま市、
金沢市、名古屋市、京都市、
岡山市、熊本市、那覇市

受験申込
受付期間 平成 23 年 7 月 15 日(金)から
平成 23 年 9 月 2 日(金)まで

問い合わせ先 水土里ネット香川 換地登記課
TEL 087(822)0303